


# 議会だより

第21号



 約3年ぶりに意見交換会を開催し、住民の皆さんから多くのご意見をいただきました

INDEX

議会と住民の皆さんとの意見交換会	p.2~3
議会と日野町農業委員会の懇談会	p.3
委員会からの報告	p.4~7
12議員 一般質問に立つ	p.8~19
議員公務	p.20

滋賀県日野町議会 令和4年12月定例会号 (令和5年2月15日発行)

**12月議会**  
12月1日から23日に開催された定例会および11月4日に開催された臨時会の結果をお知らせします。



日野菜のPRキャラクター  
あのなひのな

## 〈11/22 議会と住民の皆さんとの意見交換会〉

約3年ぶりとなるオープン参加の意見交換会を開催しました。40人以上の方がご参加ください、予定していた2時間では足りないほど、ご意見をたくさんいただきました。その一部をご紹介します。

### テーマ1:空き家対策について 空き家を改修して社宅に！



日野町では「まちなか」にも空き家は多く、町民全体の関心事であるので、様々なアイデアをいただきました。

〈リノベーションして活用〉

- 町営住宅
- 社宅
- オフィス（リモートワーク）

など、町内外の事業所と連携した空き家対策案をいくつもいただきました。

〈放置空き家対策〉

長く放置された空き家、火事後の空き家など、景観も悪く、とても危険なので、対策を講じるようご意見をいただきました。

### テーマ2:日野町の暮らしや未来を良くするために 町民と企業と議会と行政が協力を！



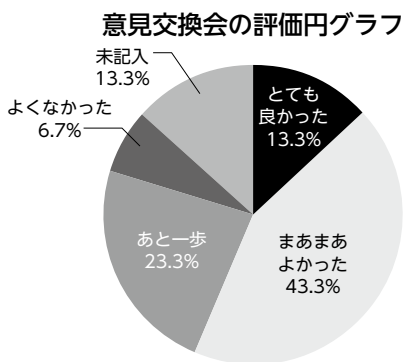
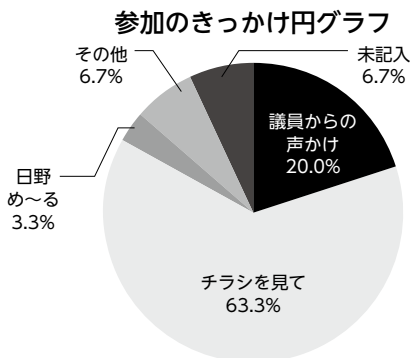
町の未来への案として、多くのご意見をいただきました。日野町関係者が一体となって課題解決へ向かうよう、いただいたご意見は以下の通りです。

- 工業団地を含むアクセスインフラの整備
- 子どものための政策を
- 芝生の公園やグラウンドはできないか
- マスクの子どもへの影響
- 移住者へのフォロー体制を
- 不登校など子どもの居場所のサポートを
- 山間農地の今後が心配
- もっと意見交換の機会がほしい

多くの問題提起をいただきました。議会活動へ反映させていただきます。



# アンケートより 意見交換会をもっと開催して！



多くの方がチラシを見てご参加くださったことは、普段から関心を持ち、自ら参加意思決定されたことが素晴らしいと思います。また、過半数が「よかった」とお答えくださり、継続して開催していくことはもとより、実行と改善を繰り返しながらより良いものにしていく重要性を感じました。

## 〈11/17 議会と日野町農業委員会の懇談会〉

### テーマ：農地や農村集落の維持に向けて 各集落で今後のための座談会を！

日野町農業委員会と日野町議会は、これまでも懇談を重ねており、意見交換や情報共有をおこなっています。

#### 〈主な話題をピックアップ〉

- 中山間地域の農地の扱いをどうするか  
耕作放棄地  
耕作地

などの確認にドローンやAIを活用中

- 地域運営組織（農村RMO）など、今後考えられる施策について、理解と話し合いをすすめるには？

農地の維持については、農業者や行政だけの問題ではないため、町全体や集落単位でも丁寧な話し合いなどをして、方向性を導き出していく必要があるという共通認識を持ちました。



# 決算特別委員会

令和3年度一般会計および6特別会計ならびに2企業会計の決算審査が9月議会の閉会中審査として10月6、11、12日の3日間にわたって行いました。議長および監査委員の西澤正治議員をのぞく11名（委員長・加藤和幸議員、副委員長・高橋源三郎議員）で審査しました。

各事項別の質疑のみならず、決算から見える施策の課題や今後に向けた改善策なども慎重に審査しました。また、最終日の午後には、グリム冒険の森と町道西大路鎌掛線の工事現場を視察、予算執行の成果を確認しました。

## 令和3年度日野町一般会計の概要

歳入総額

**110億9,115万6,343円**

町税収入 37億2,203万9,577円（構成比 33.6%）  
予算現額を約9,700万円下回り、収入率 99.1%  
対前年度比 約7億5,500万円減少  
収入率 1.5ポイント上昇  
町税比率 4.2ポイント上昇

歳出総額

**103億3,596万5,287円**

予算現額に対する不用額 約3億6,400万円  
繰越明許費 約4億8,800万円  
執行率 92.4% 対前年度比 0.7ポイント減少

歳入歳出差引決算額

**7億5,519万1,056円**

## 審査内容から見たポイント

### ●歳入

- 町税収入約37億円のうち、法人町民税が約5億7,000万円で、対前年度比約2億円（69.7%）の増収。コロナ禍からの回復基調の兆しが見られるが、予断を許さない状況である。
- 寄付金は約3,900万円（対前年度比71.7%増）。うち、大口寄付者を含むまちづくり応援寄付金（いわゆる「ふるさと納税」）は約3,000万円。
- コロナ対策などで跳ね上がっていた補助金は、ほぼ通常ペースに戻った傾向である。

### ●歳出

- コロナ禍により、民生費・衛生費の伸び率が高い。民生費では、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金、子育て未来基金への積立金などで対前年度比20.9%増。コロナワクチン接種など衛生費も21.8%増となった。

### ●質疑と討論・採決

- 実質単年度収支が4億6,000万円、不用額3億6,000万円。コロナ禍とはいえ、慎重過ぎ。町単独でも事業を実施すべきでなかったか。将来負担比率減はどう見るか。  
→実質収支額と不用額はコロナワクチン関連の返還金が多い。不執行はコロナ禍によるものが多い。将来負担比率減は、新規のハコモノ建設をしていないこと、中部清掃組合にかかる地方債の償還の終了などによる。
- なお、コロナ対策の不十分さ、業者委託の問題、政策参与の配置などの点から、一般会計決算の認定について、および延滞加算金の個人弁償問題などから農業集落排水事業決算の認定について、それぞれ反対討論がありましたが、賛成多数で認定。その他の7会計決算は全会一致で認定しました。

### ●特別会計の概要

区分	歳入	歳出
国民健康保険	21億3,148万1,728円	20億9,727万7,129円
農業集落排水	1億7,959万2,999円	1億6,907万7,211円
後期高齢者医療	2億8,354万537円	2億7,919万4,722円
簡易水道	1,109万8,201円	1,101万5,954円
介護保険	22億5,970万724円	21億3,623万8,828円
西山財産区	237万6,206円	190万2,971円

### ●企業会計の概要

区分	歳入	歳出
水道事業	6億8,997万919円	5億5,600万3,951円
下水道事業	7億1,375万4,391円	6億1,607万9,588円



# 予算特別委員会

## 付託案件の概要

### ●議第80号 令和4年度日野町一般会計補正予算(第7号)

12月議会に提案された補正予算は、人件費の調整のために、款(大分類)の全ての科目で補正額が計上されています。そのため、質疑は、前半・後半の時間に分けて行いました。

個別の補正額では、電気代の高騰による役場庁舎や小学校の光熱水費の増額と、遺産相続されたご遺族からいただいた多額の寄付を小学校と図書館の備品購入にあてるための予算計上が主なものです。

《1,000万円以上の主な歳出》

科目	経費の内容	予算額
情報システム整備基金積立金	情報システム整備基金の新規積立	3,379万6千円
小学校管理運営事業	光熱水費の増額、寄附金による備品購入 他	3,632万4千円
図書館管理事業	寄附金による備品購入	2,000万円

## 質疑と討論・採決

平成28年度に行った役場防災センターと必佐小学校の太陽光発電設備工事について、会計検査院からの指摘によって追加工事をするようになった経緯等に対し、多くの質問ができました。また、民生委員児童委員の交代時期であり、民生委員のなり手不足の問題が複数の委員から提起されました。討論はなかったので、質疑に続いて採決を行ったところ、全員が原案どおり可決することに賛成しました。

# 総務常任委員会



## 付託議案

- 議第68号 日野町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について
- 議第69号 日野町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について
- 議第70号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 議第71号 日野町の議会議員および長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第72号 日野町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第73号 日野町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第74号 日野町職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第75号 特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第76号 日野町職員の給与に関する条例および日野町会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

## 付託議案の採決

議第68～74号・議第76号 → 全委員一致にて可決すべきと決しました。

議第75号 → 賛成多数で可決すべきと決しました。



## 請願審査

請願第8号 国に対し「所得税法第56条廃止と、必要な箇所の改善を求める意見書」提出を求める請願書(請願者:滋賀県商工団体連合会婦人部協議会ほか 紹介議員:加藤、齋藤)

## 請願の採決

請願第8号 → 賛成と継続審査が同数のため、委員長採決により継続審査すべきと決しました。

# 産業建設常任委員会

## 付託議案

- **議第78号 日野町下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について**  
Q 農業集落排水事業が公共下水の企業会計になるが事業も公共下水につながるように思われないか？  
A 県の構想では、日野町は令和27年度を目途に公共下水に繋げていく計画はあるが、決定ではない。住民への周知方法を検討したい。
- **議第79号 日野町公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について**  
Q 日野北第4負担区のどれぐらいが公共下水に繋がれるのか。事前に処理水の水質の基準確認は？  
A 全体の40%を今回負担金としていただく。県の流域下水道に汚水を流す基準があり、事前にダイフクから専門水質機関の数値結果をもらい確認の上、県に提出している。
- **議第81号 令和4年度日野町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)**  
Q 集落排水事業の不祥事の進捗状況について教えてほしい。  
A 現在第三者検証会議の方で議論をいただき、ほぼまとまるところまで来ている。年度内には提言をいただき、町役場の方でどう受け止めるのか、一定の方向性を議会にも説明できる機会を作りたい。
- **議第83号 令和4年度日野町下水道事業会計補正予算(第1号)**

## 付託議案の採決

反対討論はなく一括採決 → 全委員一致にて可決すべきと決しました。



## 調査・研究

○町の雨水排水計画の現状と課題について、質問、意見、要望等、自由討議を行いました。

# 厚生常任委員会

## 付託議案

- **議第77号 日野町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(簡易水道事業を水道事業に統合)**  
Q あと残る課題である甲賀水道との問題について。入札業者数について。上下水道課の緊急時の職員体制。  
A 甲賀市とは年に数回協議を行い、現在今後の配水管の敷設替えの町の対応等協議中。来年度から5者での入札見込み。公道での交通誘導の講習の要否について検討中。
- **議第82号 令和4年度日野町介護保険特別会計補正予算(第2号)について(人件費の減額・介護給付費準備金積立金を増額)**  
Q 今回も基金積立金が約4,500万円、今年度で約2億7千万円となる見込みだが、次期計画への影響は。  
A 5年度に作成する第9期計画においての活用を念頭において進めたい。

## 付託議案の採決

反対討論はなく一括採決 → 全委員一致にて可決すべきと決しました。



## 調査・研究

国民健康保険の動向および財政状況について(配付資料に基づき住民課長より説明)。  
被保険者数等減少傾向、医療ニーズの増加により療養諸費用が増加等により、県の来年度の納付金・保険税率の仮算定が示され、日野町においても来年度の保険税の引き上げ改定が不可避との町の思いが述べられました。その後、自由討議に入り、国防費のための増税より、国民の生活保障が一番ではないか、住民に理解される料金設定にすべき等、活発に意見が出されました。コロナ禍、物価上昇で生活が苦しい中、保険税の引き上げを回避するため、国・県への訴え等の努力を求め、調査研究を終了しました。

## その他

9月議会に続き、住民の声として、猫の飼い方の迷惑行為の解消、対応を求める意見が出されました。

# 地方創生特別委員会

## 調査・研究

### 「わたむき自動車プロジェクト」実証実験の結果 【通勤バスの実証実験】

昨年の2月に、(株)ダイフク、(株)オーケーエムの協力を得て、桜川駅と日野駅の2ルートを設定、利用者が少なかった結果を踏まえ、9月に運行ルートを変更し、再度、実証実験を行いました。その結果、いずれのルートも低調で、再度見直しが必要となりました。

運行日 9月1日～9月30日（土日祝を除く20日間）(株)ダイフクのチャーターバスを含まず

- ・近江八幡駅ルート 朝3便、夕7便、利用回数 716回 17.9人/片道1日当たり
- ・八日市駅ルート 朝3便、夕5便、利用回数 348回 8.7人/片道1日当たり
- ・日野駅ルート 朝4便、夕5便、利用回数 298回 7.5人/片道1日当たり



### オンデマンド交通実証実験の運行(案) 【乗り合いタクシーの実証実験】

今年3月に、南比都佐線（猫田・十禅寺含む）、必佐中山線で実証実験を行う予定です。

経路	固定ルートなし（予約に応じて運行）
乗降場所	ご自宅から おおむね150m以内になるように設定
曜日	平日の運行が基本（利用者の要望が多ければ、土日の運行も検討）
運行時間	朝8時～夕方17時まで
車両	5人用車両 1台、3人用車両 1台
利用形態	複数人で乗り合う
運賃	実証実験期間中は無料
予約	電話予約とスマートフォンなどによるインターネット予約
目的地	日野町内：医療機関、商店、公共施設、駅、学校など 日野町外：利用頻度の高い医療機関など

# 議会改革特別委員会

～議員間討議から方向性を導き出す  
「話し合い、提案する、積極的な議会」～

## 「議会デジタル活用実証実験実施中」～3/31まで

<次年度以降、デジタル活用はどうする？>

### \*取り組み①次年度以降の環境整備

課題：実験前の状態は全部紙のアナログ議会

結論：次年度以降もデータベースを活用できるよう環境整備をすることで合意

具体策：グループウェアとポケットWi-Fiを低料金で契約

### \*取り組み②連絡手段の効率化

課題：議会事務局からの連絡手段がバラバラ

結論：事務効率化のため連絡手段統一に合意

具体策：全議員メールで連絡を受け取りFAX廃止

## 今回注目の議員間討議

<討議内容>

議会選出の監査委員制度ってどうなの？

背景：法律改正で分離できるようになった

賛成意見：議会に活かすことができる

反対意見：専門性をもたせるべきでは

慎重意見：背景や経緯を調査しては

→熟議を積み重ねて結論を導き出すことで合意

今後の方向性：法律の背景や、他市町村条例制定の理由など調査研究を継続



令和4年12月

# 町議会定例会における 一般質問内容および質問順序

発言順序・氏名	質問内容	ページ
1 山田 人志	1 役場の職場リーダー育成に向けて 2 日野町らしい産業振興ビジョンの策定を！	P. 9
2 高橋 源三郎	1 中学生通学路の歩道の除雪作業に力を！ 2 路肩の除草作業は年2回必要では	P.10
3 西澤 正治	1 技術改革で農業の発展を	P.11
4 奥平 英雄	1 日野小学校通学路の給食室前交差点の安全対策を	P.11
5 後藤 勇樹	① 持続可能な農業に向けて 2 マスク着用の常態化等、感染症対策と子どもの発達について ③ 多文化共生社会への理解は進んでいるか	P.12
6 山本 秀喜	① 堀江町政 令和5年度は結果を出していく大事な年 2 中山間地域の農業施策と獣害対策について ③ 地域おこし協力隊の活動状況は？ 4 令和5年度の保育所、学童保育所の入所予定状況は	P.13
7 谷 成隆	1 物価・所得・生活と学校給食費について 2 道路行政について	P.14
8 齋藤 光弘	1 AIを活用したオンデマンド交通実証実験はどうか 2 日野町公式ホームページのバージョンアップを要望	P.15
9 中西 佳子	1 子育て支援について 2 健康づくり、フレイル予防について	P.16
10 池元 法子	1 学校給食の無償化を願う 2 わたむき自動車プロジェクト 町全体の公平性、堅実な検討を望む	P.17
11 加藤 和幸	1 わたむき自動車プロジェクト ダイフク路線黒字化は可能か 2 ふるさと納税初年度の総括を伺う	P.18
12 野矢 貴之	① マスク着用よりも咳エチケットを！ ② 子どもの居場所への取り組みは？ 3 地域運営を実現させる方法	P.19

議会だよりでは、3つ以上一般質問がある場合、  
スペースの関係で○のついた番号の質問と答弁を掲載しています。

本会議の様様をインターネットで配信しています。  
(ライブ中継・録画中継)



上のQRコードを読み取ると  
一般質問の録画が視聴できます。





# 役場の職場リーダー育成に向けて

答 メンター（相談相手）制度を検討してみたい



山田 人志 議員

行政の政策効果は、人の仕事しだいであらう。役場の中堅職員（次の職場リーダー）を育成する体制や制度について聞きました。

## 問

知識と経験をバランスよく身につけるための教育訓練が実施されているか聞きたい。

## 答

中堅職員はリーダーの役割やマネジメントの手法を理解するために、また、上司は部下を指導・育成する能力を養うために外部研修を受講し、習得した知識を職場で実践して経験を積んでいる。

## 問

中堅職員に対するメンター（相談相手）制度は設けているのか。

## 答

以前に、新規採用職員を対象にしたメンター制度を3年間実施した。

# 問 日野町らしい産業振興ビジョンの策定を！

答 機運の高まりを見ながら産業振興ビジョン策定に向けた対応を考えたい

## 問

一次産業のなかで、G1認証を取得した近江日野産日野菜を例にとるとマーケティングが大変難しいと思うがどうか。

## 答

漬物という限られた市場のなかで、消費者にいかに関与するか、さらに、日野産を差別化できるかは大変難しいと考える。

## 問

三次産業でも最下流のニーズの拡大は課題であるが、地元商店が何を強みとしてどのようなニーズに応えれば良いか。

## 答

馴染みの人がいる安心感が地元商店の強みであると思う。その強みで町の中小・小規模企業振興基本条例で掲げる「地域コミュニティの維持発展」に寄与してほしい。

## 答

幹線道路の整備や通勤での公共交通の利便性など、製造事業所の周辺環境を整えることで振興策につなげていきたい。

## 問

町内進出の製造業にはニーズ拡大の理論は通用しないが、町内総生産の7割を占める製造業に対する振興策も町政として重要ではないか。

## 答

総合計画の取り組みの流れのなかで、関係団体とも議論を深め、機運の高まりの状況を見ながら対応を考えたい。

## 問

非公式のメンター役ができるよう、制度として設けるほうが良い。定年延長との関連でベテラン人材を活用できないか。

## 答

中堅職員にとって相談相手がいることは良いことなので、定年延長のなかでメンター制度が実施できないかを検討してみたい。

## 答

ハウスメーカーとの営業力の差があるため、木造建築の利

## 問

最下流でのニーズの拡大は地元事

# 問 中学生通学路の歩道の除雪作業に力を!

答 歩道の総延長が100kmを超えるため対応は困難



高橋 源三郎 議員

## 問

日野中学生の自転車通学は歩道を通ることになっており、その通学路も大字ごとに学校で指定されています。よって自転車通学の中学生は決められた通学路を通じて登下校しています。

さて、11月には「議会と住民との意見交換会」が日野公民館で開催されました。その中で東桜谷地区の住民から冬期の中学生の自転車通学における歩道の除雪について意見があり、雪が降った日には歩道の除雪を登校時までにやってほしい旨の要望がありました。これについては私も同感で、西桜谷地区の中学生においても国道307号の積雪の歩道を自転車に乗りながら一生懸命ペダルをこいでいる姿を、昔も今も見ています。また勾配のある歩道は、上りの雪道も大変ですが下りもタイヤが滑って危険です。そこで、住民要望にもありますように、私は積

## 問

雪が10cmを超えた時は歩道も除雪をして頂きたいと思えます。そして、歩道の幅員全体の除雪ではなく、自転車のハンドルほどの幅(60〜70cm)の除雪でも自転車は十分に通れますので、歩道用の小型除雪機または簡易な除雪機で結構ですので、町が機械を購入して直営で行うか、または業者発注等により対応して頂きたいの考えを伺います。

## 答

12月1日より雪寒対策実施計画を策定し、除雪の対応にあたっていきます。車道の除雪は国道と県道は滋賀県が、町道は町が建設工業会と契約して対応しています。しかし、車道の除雪だけで精一杯で歩道の除雪までは手が回らないのが実状。歩道の総延長は100kmを超えており、町直営でも対応が難しいのが実情です。

## 問

答 交通量が多いため年2回の除草は困難

## 問

道路路肩の雑草除去は以前は雑草が一番よく伸びる春と夏の2回実施されていました。しかし近年では夏の間は1回だけ実施されているようです。

例えば西桜谷公民館の場合、周辺とその向かいの県道路肩の除草作業は毎年6月と8月の2回実施されています。また個人の農地が直接道路に面している場合は、耕作者が路肩の草刈りを年に3回も4回も行っていきます。この手間は相当なもので、本来行政が行うべき雑草除去を耕作者が行っているのが現状です。

また最近では防草シートが容易に手に入るため、路肩に防草シートを貼っている耕作者もいます。この問題は以前一般質問でも取り上げましたが、その半年後、町道西明寺安部居線の大字佐久良地先では道路の舗装が完了し、両側の路肩には緑色の防草シートが貼られています。道路の建設時にはお金がかかっても後の手間や経費を考えると、効率が良いのではないかと私は考えます。従って町が管理する道路の路肩については、除草作業は年2回して頂きたいと思えます。

## 問

観的にも良くないと私は思います。よって、除草作業は年2回行って頂きたい。次年度の予算措置を要望します。

なおこの県道に限って言えば、葛の葉の繁茂がひどいため、路肩に防草シートを貼ってほしく県に要望したい。



葛の葉で覆われた防護柵

## 答

町道路肩の雑草除去は可能な限り隣接地域の方々にもお願いしており、大変感謝しています。しかしながら、交通量が多く除草が困難な主要道路は年1回です。様々な行政要望にお応えする中で、年2回の除草作業は困難な状況。また県道の葛の葉繁茂の路肩については対策を県に要望します。



### 技術改革で農業の発展を

答 ドローンの導入については、支援策を研究する



西澤 正治 議員



問 稲作農家も高齢化が進み離農される農家戸数が年々増加しています。

そうした中において農業施策も法人化や認定農業者、新規就農者に国の農業施策が重視されるようになりました。

当鎌掛地区で法人化された2つの農業団体、認定農業者も複数おられ、10月28日から30日までの3日間、ドローン無人航空機操縦技能試験があり、若手農業者6名が受験され、無事に民間の認定試験に合格されました。

ところで今年(令和4年産)の県内の稲作状況指数は100となつていますが、日野町のような中山間地域では無理な指数です。

カメ虫の被害、穂首いもち病等、稲の病害虫防除にドローンが最適な防除機具ではないかと思いません。

若手農業者やこれから農業を始めようと思つて

いる人々が夢と希望を持って励んで欲しいことです。

ドローン購入に対して補助、支援策をしてもらえないものか伺います。

答

ドローンを利用した農業もドローン技術の進展により全国で急速に広がりを見せており、農業用ドローンの導入が全国で進みつつあります。

ドローン導入に対する補助金として、国ではスマート農業の全国展開に向けた導入支援事業や担い手確保・経営強化支援事業等を実施しています。

町におきましても、農作業の効率化は農業の持続化において重要な課題であることから支援策について研究したい。



農業用ドローン

### 日野小学校通学路の給食室前交差点の安全対策を

答 検討等されるよう東近江土木事務所に要望したい



奥平 英雄 議員



問 ①9月定例会で一般質問した町道日野松尾線について、10月に保護者の方と通学路の危険な場所を調査された結果をお聞きします。

②日野小学校給食室前の県道41号線のT字路は、道路幅が狭く道路が「くの字」になっていることから、車の事故でガードレールが破損しています。横断歩道があり、通学路でもあることから危険な場所となっています。

町民の方からも道路が「くの字」になっていることで車同士すれ違う際に接触しそうで怖いとのこと、安全対策を要望しました。

答

①10月5日の通学路点検では、東近江警察署の見解として、現在、横断されている交差点を信号のある交差点に通学路を変更することが、最も安全

な対策であると提案され、今後、学校と保護者と相談いただく予定で

す。②まずはお互いに安全運転に心がけていただきたいと考えますが、今年の夏以降に続けて2回事故が発生しておりますので、町としては、道路管理者である東近江土木事務所において検討等されるよう要望したいと考えます。



破損したガードレールは取外されている



日野小学校給食室前の県道41号線

# 問 持続可能な農業に向けて

答 課題解決に向けしっかり取り組んでいく



後藤 勇樹 議員



まちかど感応館で販売中のジビエ缶詰

問

6月・9月議会で取り上げた農村RMOに続き農業について伺います。

- ① ハードルの高い新規就農者を求めるだけでなく、まずは家庭菜園等を通して農業を志す人を育ててはどうでしょうか。
- ② 獣害対策推進と共に猟友会・獣美恵堂のジビエ肉を官民一体で特産ブランド品化を目指してはどうでしょうか。
- ③ 近江日野産日野菜のGI認証を普及に結び付ける方法は。また米粉の菓子やケーキ等もPRシユメの消費拡大につなげてはどうでしょうか。

答

(町長・農林課長) ①新規就農者になるには覚悟や計画性も問うているが、担い手不足解消のため新たな手法も考えていきたいと思えます。

- ② 集落や猟友会での有害鳥獣駆除が効果を上げてきています。猪や鹿肉の缶詰も販売されているが、さらにジビエ普及に力を入れていきます。
- ③ GI認証を受けた近江日野産日野菜の普及はマーケティング等の戦略を練り、取組みます。米粉ケーキは給食でも好評でした。一般にも普及できるように努めたいと考えます。



家庭菜園は移住者にも魅力就農者予備軍としても期待

# 問 多文化共生社会への理解は進んでいるか

答 外国人や移住者にも寄り添い、住みやすいまちを目指す

問

11月22日の議会と住民さんの意見交換会では、住民、議員

双方から「外国人は交通ルールを守らない」「外国人はマナーが悪い」「外国人は区費を払わない」等の発言が相次ぎました。国籍を問わず誰もが個性や心を持った「人間」であり、育った環境も異なり、育った環境も異なります。「外国人」と一まとめで見ると問題はないでしょうか。ルールや地域の決まり事を、きちんと説明して理解を得られたのでしょうか。外国人にも日野町の文化や歴史の継承に、日本人以上に取り組んでいる人もいます。町の多文化共生への取り組みを伺います。

答

(町長・企画振興課長)

日野町の人口約2万人のうち8000人は外国人であり、町の持続に欠かせない人たちです。今年、工業団地企業協議会の尽力で、初めて外国人への交通ルール研修を行いました。相手が誰でも互いを理解する気持ちが無いと、見た目や思い込みで判断しがちです。町として自治会や企業の協力も得ながら、できる限りの方法や手段で地域生活の上で大切なことを、外国人にも既住者にも理解していただけるよう進めてまいります。また、国内移住者に対しても、困りごとや相談事などに積極的に応じさせていきたいと思えます。





# 堀江町政 令和5年度は結果を出していく大事な年 学習支援員の配置、「わたむき自動車プロジェクト」はどうしていくの？

答 学習支援員は業務内容を調査し議論を進めていく  
「わたむき自動車プロジェクト」の路線バス化は令和5年度も取り組む



山本 秀喜 議員

## 問

令和5年度の予算編成は、堀江町政1期目の中間期に当たり、公約に掲げたことや第6次総合計画の目標に向けて、目に見えて結果を出していく重要な年になります。

## 答

今まで多額の費用を注ぎ込んだ「わたむき自動車プロジェクト」の次なる施策、公共施設の長寿命化対策や平和堂跡地の具体的な構想など、令和5年度に向けて主要な施策の動向を伺いました。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、あくまでも臨時的なものを受け止



利活用が待たれる平和堂跡地

め、コロナ禍により学校に配置してきた学習支援員は、細部に渡り業務内容を調査し今後議論を進めます。

「わたむき自動車プロジェクト」は、工業団地への路線化を目指しましたが、利用者は低調でした。通勤バス前後の利用方法の検討や、今後も事業所様との丁寧な話し合いを進めていく予定です。

長寿命化計画は、施設ごとに特性や経過年数、現況を踏まえつつ、財源を調整しながら必要な改修を実施する予定です。

平和堂跡地は防災機能とともに観光客の皆さんや、世代を超えた人との交流による賑わいを創出できる広場として活用できればと考えています。



地域の方と共に稲刈り体験

町と隊員との間では、赴任時に「①関係人口の創出と拡大、②移住・定住の促進」が活動内容として決められています。この①、②に決めた理由や期待する成果は、隊員の活動状況、町との連携やサポート体制は十分なのかを伺いました。

再質問では、移住促進のために仲人的な役割を担うこと、地域の産業振興につなげていくことを伺いました。

再質問では、移住促進のために仲人的な役割を担うこと、地域の産業振興につなげていくことを伺いました。



隊員の方が取り組んだ「まちのコイン」イベント

期待する成果は、町の魅力発信すること、訪れつながら、地域を訪れた人と地域との出会いを生み出すこと、空き家に関するモデルケースとなる取り組みにより、空き家の活用に関心をもつき家や移住につながることを期待しています。

移住促進や地域の産業振興については、隊員と意見を共有し話し合いを進めていき、体験を通しての情報発信も有効な手段と考えています。

一年目の活動状況は、地域行事への参加などを通して、地域を知ることや地域に溶け込むことを重視しながら活動されています。現在は、大学生のインターンの受入れなど

一年目の活動状況は、地域行事への参加などを通して、地域を知ることや地域に溶け込むことを重視しながら活動されています。現在は、大学生のインターンの受入れなど

## 問

地域おこし協力隊の活動状況は？  
移住促進のために仲人的な役割を担ってもらうことは？

答 関係人口創出のため、町の魅力を発信している  
移住促進は弱いと感じる、隊員と話し合いを進めたい

## 問

地域おこし協力隊は地域産業の振興や、住民の生活支援など地域の活性化を目的にその活動に従事し、隊員自らもこの日野町に定住・定着を図ってもらえるものです。現在日野町には、3名の方が来町され日々活動されています。

## 答

活動内容を①、②に定めた理由は、少子高齢化や人口減少を見据え、町の魅力を高め、特色を活かした地域づくりを進めていこうと決めました。

期待する成果は、町の魅力を発信すること、訪れつながら、地域を訪れた人と地域との出会いを生み出すこと、空き家に関するモデルケースとなる取り組みにより、空き家の活用に関心をもつき家や移住につながることを期待しています。

移住促進や地域の産業振興については、隊員と意見を共有し話し合いを進めていき、体験を通しての情報発信も有効な手段と考えています。





# 問 物価・所得・生活と学校給食費について

答 現状としては、今後も、保護者に負担を求めていく



谷 成隆 議員

**問** 現在、世界的な物価高騰の中、政府も順次、対策を頂いている状況です。地方自治体にも相応の努力を課せられていく様に感じます。政府対策措置の見込みは、住民税非課税世帯に対して5万円のプッシュ給付を検討、地方創生臨時交付金6000億円用意される様子、日野町においても今年度500万円補填された経過、国から同じ様な指導がある場合は来年も児童生徒の給食については品質を落とさない給食の提供を確保する必要はあるか。

①現在の給食費、一人一食当たりの算定、食材費見当230円を300円まで引き上げはできないものか。

②子育て世帯の生活と可処分所得の関係は切り離せない関係、賃金が上がらず可処分所得が目減りする現状、しわ寄せは子育て世帯へと子供に廻る事を町はどのように考えるか。

③9月議会でも申した様に再度児童生徒の給食費の大幅の扶助、無償化を町の施策として考えられないか。

①物価高騰により賄材料費や燃料費の値上がりが続いて厳しい状況、今年度は補正予算で対応、今後も献立の工夫を物価高騰分を安易に保護者負担を求めなく務める。

②子育て世帯原油価格高騰臨時対策支援事業18歳までの児童を対象に児童一人当たり5000円の給付、12月11日に実施の子育て応援フードドライブでは町民の皆様、町内外の企業から沢山の応援を頂き多くの家庭に届ける事が出来た。

③学校給食法において学校の設置者と保護者が分担。食材に係る経費は保護者負担、一方経済的に困窮しておられる所帯、就学援助費で給食費を援助、今後も保護者に負担を求めて行く事が基本。

①町道西大路鎌掛線の開通については令和9年の計画が見通しが付かない状況に要因は地質調査の不足、軟弱地盤である事が判明、そこで工期と予算についてお伺いします。

**答** 日野町内で渴望する主要地方道において計画や見通しの立たない状況が続いています。以下、質問の課題として上げた項目です。

①町道西大路鎌掛線の開通については令和9年の計画が見通しが付かない状況に要因は地質調査の不足、軟弱地盤である事が判明、そこで工期と予算についてお伺いします。

②必佐バイパス猫田地先以降について、県道西明寺安部居線の今後、県道土山蒲生近江八幡線の当町関連、土山鎌掛区間の状況、町道小御門十禅師線の歩道整備の住民評価、多くの

課題解決をするため、建設計画課の体制強化、社会資本整備交付金をしっかり使い、地域発展への投資、町の災害への強靱化、次世代に引き継ぐ為の安全・安心な町づくりは急務では。

①事業費の軽減や事業工期の短縮となるよう設計成果の見直し、委員会でも提案頂いた、ルート検討、縦断計画の見直し、早期の用地対策の着手。

②道路は生産、流通を始め経済的、文化的に必要な機能を果たすもので、日常生活には欠かせない。今年度、県道西明寺安部居線第一工区完成見込み。来年度、県道石原八日市線完成見込み、県道土山蒲生近江八幡線用地測量に着

# 問 道路行政について

答 県と町が連携し、着実な整備を進めていく

**問** 日野町内で渴望する主要地方道において計画や見通しの立たない状況が続いています。以下、質問の課題として上げた項目です。

①町道西大路鎌掛線の開通については令和9年の計画が見通しが付かない状況に要因は地質調査の不足、軟弱地盤である事が判明、そこで工期と予算についてお伺いします。

②必佐バイパス猫田地先以降について、県道西明寺安部居線の今後、県道土山蒲生近江八幡線の当町関連、土山鎌掛区間の状況、町道小御門十禅師線の歩道整備の住民評価、多くの

課題解決をするため、建設計画課の体制強化、社会資本整備交付金をしっかり使い、地域発展への投資、町の災害への強靱化、次世代に引き継ぐ為の安全・安心な町づくりは急務では。

①事業費の軽減や事業工期の短縮となるよう設計成果の見直し、委員会でも提案頂いた、ルート検討、縦断計画の見直し、早期の用地対策の着手。

②道路は生産、流通を始め経済的、文化的に必要な機能を果たすもので、日常生活には欠かせない。今年度、県道西明寺安部居線第一工区完成見込み。来年度、県道石原八日市線完成見込み、県道土山蒲生近江八幡線用地測量に着

建設計画課の職員から道路の説明を受ける



建設計画課の職員から道路の説明を受ける

問 AIを活用したオンデマンド交通実証実験はどうか

答 2月に住民説明し、3月から半年間の実証実験を開始したい



齋藤 光弘 議員

**問** 実証実験の対象となる南比都佐地区、猫田、十禅師、中山地区の方に運行方法を理解してもらうため、利便性や事業採算性の観点を踏まえどのように計画されているのか質問しました。

① 予約受付方法について、予約をどうすればよいのか。

② 乗降場所の設置、住民への説明等のスケジュールはどうか。

③ アンケート結果はどうか。

④ A-1オンデマンド交通実証実験業務の公募による事業者選定結果と契約概要を伺う。

⑤ オンデマンド交通運行経費を算出されているのか。

オンデマンド交通のしくみ

- コールセンターへ連絡
- お出かけニーズに対応
- 希望に近い時間に送迎
- 停留所をきめ細かく設置
- 自宅付近から楽に乗車



近江タクシー車両のイメージ写真

**答**

① 当日予約は1時間前までの予約とします。帰りの予約も同様となります。通

院・買い物についても、時間が遅くなる時にはその予約変更も想定しています。

② 12月中に乗降場所を確定し、2月に地域の皆さんに利用方法の説明会を開催させていただきます。3月から実証実験を開始を考えています。

③ 利用したいが64%。買い物・通院が80%〜70%でした。

④ 株式会社アイシンに選定。配車システム構築と実証実験について契約。

⑤ 1台当たり年間1400万円のワゴン車2台を見込んでいます。

問 日野町公式ホームページのバージョンアップを要望

答 ウェブアクセシビリティに配慮した、「誰もが使いやすいホームページ」にバージョンアップ

**問**

検索しやすいホームページにするとともに、ホームページを活用し、行政の情報をもっと広く情報公開されることを求め、質問しました。

① 12月19日に新しくバージョンアップされるホームページはどのようなように改善されるのか。

② トップページの検索するカテゴリ等を検索しやすく改善されているのか。

③ キーワード検索は、検索しやすくなるのか。

④ ホームページの管理体制はどのようにされているのか。

⑤ 住民に寄り添った行政の情報を、広く等しく情報公開し、情報発信されているのか。

**答**



新しくなった日野町公式ホームページ

① 高齢者や障がい者等、どのような方にも見やすくするために、背景と文字のコントラスト等に配慮しています。

② ホームページ管理システムのバージョンアップを基本として改修を行っています。スマートフォンへの対応により、トップページの整理を行うとともに全体のデザイン変更を行います。

③ これまでとは別の方法により検索することから、向上すると考えて

います。

④ 公開するコンテンツは、各担当課にて作成し、企画振興課にて確認後、公開処理を行います。公開時期や方法は、各担当で判断していますが、企画振興課から関係課に調整しています。

⑤ 様々な情報の掲載に努めているところですが、分かり易いホームページとなるよう各所属の職員で構成するホームページ運営委員会で協議し、情報共有を図っています。



改善されたメニューの表示





# 問 子育て支援について

答 様々な場面を通して寄り添い、顔の見える関係を作る



中西 佳子 議員

## 問

コロナ禍の影響は大きく、虐待や

いじめ、不登校など子どもを巡る課題は深刻化していると言われている。誰もが未来に希望がもて、希望すれば安心して子どもを生み育て、十分な教育が受けられる環境づくりが必要である。何点か伺う。

## 答

①町の現状は母子健康手帳の交付時に、全ての妊婦と面談するとともに、出産後は、新生児訪問、乳幼児健診時の面談、育児に不安を感じておられる方への訪問を行っている。今後も、妊婦や子育て家庭がより安心して出産・子育てができ、日野町で住み続けたいと思っていただけのように、また様々な場面を通して寄り添い、身近で顔の見える関係を作っていくことが必要である。

①国では伴走型相談支援の拡充を言われているが、町の現状と町のニーズにあった伴走型相談支援への見解は。  
②子育て世代への経済的支援について、先行自治体では出産祝い金やおむつ配布などの支援をされている。町の経済的支援へのお考えは。  
③子どものライフステージに応じた支援も必要である。子どもの居場所づくりや学習支援、経済的支援等、今、町の子どもたちのために何が必要とお考えなのか。

②経済的支援については、これからも顔の見える関係性を大切に子育て中の保護者が孤立しないサポート体制の充実と福祉医療費助成の実施や保育料をはじめとする経済的負担の軽減等、適切な支援に努めていく。  
③ライフステージに応じた支援については、小学校から中学校を通じ

## 問

健康づくり、フレイル予防について

答 若い世代からの健康づくり、が重要

## 問

町では人口が減少している一方で、



高齢者人口は今後も増加する見込みであり、一人暮らし高齢者世帯、高齢者のみの世帯、認知症高齢者の増加が予測されています。高齢期の健康づくりには、バランスの良い食事や社会参加の場づくりとフレイル予防も重要と考える。

て就学援助を実施するとともに、今年度から通学バスの無償化を実施した。就学前に、子どもの成長に応じた支援、子育て教育相談センター、少年センター、教育・保育施設において対応し居場所の確保や相談出来る体制を整えている。  
②地域の介護予防活動を支援するサポーターの状況はどうか。  
③高齢者の健康状態や食事等の相談体制は。  
④地域の通いの場などに行けない人にも、保健センターなどでフレイルをチェックする測定会等は出来ないか。

①「おたっしや教室」は現在23ヶ所で開催いただいている。「男性の運動教室」

は4公民館で実施。運動の場だけでなく交流の場となっている。  
②運動指導サポーターは80名の方がサポーター連絡会に加入し、活動いただいている。  
③相談を受けた場合、専門職が訪問等適切な助言や必要に応じて関係機関と連携を行っている。  
④フレイルとは加齢に伴う心身機能の低下のことで、問診票によるフレイル状況確認や体力測定を介護予防教室で行っている。若い世代からの健康づくり介護予防が重要。体力測定等の機会を設け啓発を行っていききたい。





# 学校給食の無償化を願う

答 財政負担が課題、自校方式・地産地消を進める



池元 法子 議員



**問** 朝ご飯を食べられない子どももいます。7人に1人の子どもが貧困状態と言われる中、学校給食はかけがえない役割を果たしています。

日野町での一人あたりの給食費は月額、小学校で3600円、中学校で4200円、小中2人の子どもがいる家庭だと年間8万5800円になるのです。

コロナ禍と物価高騰も重なり、給食費は若い子育て世帯の重い負担となっています。私たち日本共産党の議員は、国会で憲法第26条の「義務教育はこれを無償とする」という規定通りに学校給食を無償とするよう求め、日野町議会でも幾度か質問をしてきました。

全国では、完全無償化した自治体は5年間で224自治体と3倍になりました。県内でも無償化、減免、検討中の市町が広がっています。

日野町でも、主食のお米は無料、要保護・準要保護世帯は無償としています。

さらに学校給食の無償化を検討し、少子化対策にもなる町長の決断を望みます。

**答**

現在の経済状況、無償化の自治体が増えていることは認識しているが無償化した場合、町に大きな財政負担を伴い、大きな課題と考えている。

日野町の学校給食は自校方式で行い、地産地消を進め、安全安心で美味しい給食の提供を変わらずに進めていくことが重要と考えている。



## 問 わたむき自動車プロジェクト 町全体の公平性、堅実な検討を望む

答 協議・評価はとりまとめているところである

**問** わたむき自動車プロジェクトについて、6月、9月議会で取りあげましたが、明快な答弁はいただけませんでした。

町営バスの運行は町民の移動手段に係わる大事な施策であり、現実な目を向けた堅実な検討が行われることを求め質問します。

①プロジェクトの趣旨について。

②実証実験の協議会での協議・評価は。  
③実証実験の概念は。  
④第Iフェーズに湖南サンライズの通学バスは入るのか。  
⑤来年度からの本格運行の想定予算は。  
⑥プロジェクト関連の経費の町と協議会の区分は。

**答**

①趣旨に変わりはない。

②現在とりまとめているところである。

③実験的に運行を行い、安全かつ安定的に運行可能か検証するもの。

④継続して運行できるように検討していく。

⑤現状の運行形態で実施した場合、年間約4000万円程度、来年度予算に向け、他地区の対応についても現在調整検討中。

⑥実証実験および調査研究については、協議会。公共交通として実施するものは町の予算を基

本とする。

⑦運行の財源は、普通交付税を確保していきたい。

【議員より】

本格運行となれば、サンライズの運行で年間4000万円と多額な財源が必要となる。曙団地の通学バスの運行の要望も出されており、その他五万台、椿野台、上駒月、中山などへの対応が必要となる可能性があるが、これらの地域の対応、要する経費は考えられているか。通学バスのあり方については全町的な課題であり、公平性、財政問題も含め慎重な検討を望む。



# 問 わたむぎ自動車プロジェクト ダイヤク路線黒字化は可能か

答 片道300人を超える利用が必要となる



加藤 和幸 議員

## 問

大気汚染、運転免許証返上の増加

など、地方公共交通は喫緊の課題。わたむぎ自動車プロジェクトについて伺います。

①ダイヤク便路線化の条件、国庫補助、黒字条件等回答が二転三転しています。路線化についてお答えください。

②「約3000人の社員が通勤しておられるから黒字は可能」(副町長)とのことだが、ビッグデータ居住地調査の最寄り駅(停留所)徒歩15分圏の人数、バスの便数などと合わせ黒字は可能ですか。

③マイカー通勤者の「行動変容」を可能にする具体的な条件整備を伺います。

④協議会参加企業や近江バスなどは、この間の実証実験の結果をどう見ておられますか。

⑤地方創生交付金を町が協議会に支出し、町が執行する。チェック機

能は働いているか。

## 答

①1日150人の定期利用で国庫補助を見据えたラインです。黒字化には片道300人の利用が必要になります。

②ダイヤクだけでなく、より多くの事業所の参加をいただき、母数を増やすことが必要です。

③運行本数やルート設計、乗り継ぎ環境の改善で、利便性を高める。

④協議会の皆様からご意見を伺い、評価していきたい。

⑤協議会の皆様に説明させていただき、議会にも報告させていただきます。



## 問 ふるさと納税初年度の総括を伺う

答 返礼品に特化した税の取り合いではなく、町との結びつきを大切に組みみたい

## 問

堀江町政の選挙公約であったふるさと納税について、初年度の実績が出された時点で、どう見るかを伺います。

①差引800万円プラス

②流出件数超過

③大口寄付者の存在

④地元振興

⑤次年度への課題

## 答

①皆様からの温かい寄付に感謝。日野を知っていただく返礼品目当てでなく、機会が増え特産品PRになった。

②寄付される動機は様々。それよりも寄付いただいた方との交流に主眼をおきたい。

③多額のご寄付を頂戴していることに深く感謝申し上げる。今後も結びつきを深めたい。

④現在、町内中心に27者さんから107品目を登録いただいている。さらなる増加に取り組みたい。

⑤返礼品もまだまだ少なく、協力事業者の新たな開拓、種類や数量の増加も必要。

令和3年度決算資料(左表)によると、制度による利益は約800万円程度。注目すべきは、収入が346件、流出件数567件。金額では収入が多く、件数では流出の方が多。

### ふるさと応援寄附事業

(令和3年度決算資料による)

#### 歳入

まちづくり応援寄付金  
346件 3,011万2,000円

#### 歳出

返礼品代 289万1,877円  
 収納代行手数料・送料 50万8,014円  
 周知広報代 59万9,280円  
 その他事務経費 11万7,858円  
 歳出合計 411万7,029円

#### 他市町のふるさと納税応募分

567件 1,806万4,000円

#### 差引

793万971円

推進にあたっては、返礼品に特化した税の取り合い競争にせず、寄付者のお気持ちを中心にしながら結びつきを絶やさぬよう取り組みたい。



## 問 マスク着用よりも咳エチケットを!

答 マスクは推奨だが、個人の判断は尊重していく



野矢 貴之 議員

### 問

①日本ではマスクを徹底している

社会だが、本当にマスクは必要だと考えているか?

②世界ではマスクをして

いるのは日本だけだというような報道もある中、日本でマスクが徹底されているのはなぜだと考えているか?

③ガイドラインとしては、

自覚症状があるなど必要に応じてマスクをする咳エチケットが良いのではないかと一律マスクを着用することよりも、自分で考える咳エチケットを推奨する方が、教育的ではないか?

④子どもたちにとって、

マスクはメリットよりもデメリットの方が大きいのではないかと?

⑤福岡市では全小中学校

で黙食を緩和し、感染拡大の事例はなく子どもたちが笑顔だという日野町でも緩和できないか?

### 答

①国のアドバイザリーボードの考え方を踏まえ、感染防止対策としてのマスクの重要性は変更して

いない。

②マスクは感染拡大防止

に効果的であること、拒否感がありないうこと、みんながしているから。

③無症状感染を防ぐには

マスクが効果的だが、個人の判断を尊重する。

④メリハリのあるマスク

の着脱をおこなう。

⑤文科省より11月30日に

「給食時間において会話をすることは可能」と通知があった。

### 問

子どもの居場所への取り組みは?

答 フリースクール利用料補助を検討中

### 問

学校へ行けないことは、悪いこと

でも劣っていることでも特殊でもない。大人と同じように、合わないだけのこともある。子どもたちにもどんな選択肢を提供できているかを考えたい。

①学校に行けない場合、

フリースクールなどは居場所としてのセーフティネット的な役割がとて大きいのではないかと? 枠組みの最優先は居場所とはならないのか?

②学童保育と同じように、

運営補助の対象に考えられないか?

③川崎市のように、

子どもの権利条例をつくってはどうか?

### 答

①教育委員会としてはまずは学校

を主に考えている。環境が整ってくれば枠組みも考えたい。

②学童は国の制度がある。

フリースクールとは、利用児童生徒支援補助を検討中であり、認定や連携をおこなっていききたい。

③令和5年4月から、こ

ども家庭庁の新設、こ

ども基本法の施行により、子どもの最善の利益を第一に考える政策への取り組みがよりすすめられていく。令和7年度からの「第3期日野町子ども・子育て支援事業計画」で一体的な計画策定を検討している。



▲マスク着脱の指針

### <人間として大切な子どもの権利>

1. 安心して生きる権利
2. ありのままの自分である権利
3. 自分を守り、守られる権利
4. 自分を豊かにし、力づけられる権利
5. 自分で決める権利
6. 参加する権利
7. 個別の必要に応じて支援を受ける権利

引用元:川崎市ホームページ

▲日本で最初に制定された川崎市子どもの権利に関する条例

# 日野町議会議員公務一覧

(令和4年10月1日～12月31日)

公務名		場所	期間	出席議員
奥師地先宮川林道橋梁現地視察	視察	奥師地先	10月4日	議長、副議長、後藤
必佐小学校6年議場見学	その他	日野町役場	10月7日	議長、副議長、総務常任委員、池元
日野町地域安全推進大会	その他	必佐公民館	10月15日	議員全員
第29回全国消防操法大会出場選手激励会	来賓	日野消防署	10月19日	議長、副議長、総務常任委員長、高橋、加藤
氏郷まつり“楽市楽座”2022	その他	日野町役場周辺	10月22日～23日	議員全員
南比都佐小学校6年議場見学	その他	日野町役場	10月24日	議長、副議長、総務常任委員長、副委員長、齋藤
市町村議会議員特別セミナー	研修	全国市町村国際文化研修所	10月25日～26日	野矢
滋賀県町村議会議長会第63回町議会議員研修会	研修	わたむきホール虹	11月2日	議員全員
第61回氏郷まつり(松阪市)	来賓	三重県松阪市	11月3日	議長、副議長
蒲生郡町村議会議長会要望活動	要望	東京都	11月8日～10日	議長、副議長
全国町村議会議長会第66回町村議会議長全国大会	構成員	NHKホール	11月9日	議長、副議長
第4回日野町国際親善協会理事会	構成員	林業センター	11月10日	総務常任委員長
日野町議会と日野町農業委員会の懇談会	懇談会	林業センター	11月17日	議員全員
滋賀県町村議会議長会第46回町議会広報研修会	研修	竜王町防災センター	11月18日	議会広報常任委員
住民の皆さんとの意見交換会	その他	日野公民館	11月22日	議員全員
日野町青少年意見発表大会	その他	わたむきホール虹	11月27日	議員全員
外国人交流事業	構成員	日野まちかど感応館新館	11月27日	総務常任委員長
令和4年度日野町消防団年末特別警戒巡視	来賓	町内	12月29日～30日	議長、副議長、総務常任委員長

## その他

通常公務として日野町議会定例会・臨時会  
 一部事務組合 東近江行政組合議会／八日市布引ライフ組合議会  
 議長公務 約40件 などがあります。



## 請願・陳情等の手引き

誰でも、町政などについて意見や要望などを請願・陳情として町議会へ提出することができます。

詳しい手引きについては、日野町ホームページまたはQRコードからご覧ください。

請願・陳情

サイト内検索



## 議会だよりアンケートのお願い

議会だよりへのご意見をQRコードから入力いただけるようになりました。皆様から頂いたご意見を反映し、わかりやすく・読まれる議会だよりにしていきますので、ご協力をお願いいたします。

※従来通り電話やメールでもご意見を受け付けています。



## 議長 コラム



議長 杉浦 和人

### 議会改革を 振り返り

今期は議会改革特別委員会が設置されています。

改革には行財政改革、働き方・仕事の進め方改革、議会改革をはじめ様々あります。

我々は改めて改革の一語を研鑽する必要がありますと感じています。また、常に議会内を牽引する立場がありながら、議員必携を一読すれば一目瞭然である法令や会議規則を会得できていません。個人の良識は言うまでもありませんが、改革を進めている中で、日野町議会の資質が問われかねません。

各自自治体のデジタル化は進んでいます。日野町もワークチン接種・税務相談予約などの開発に精力的に取り組んでいます。我々議会もタブレット導入を検討し研修をして参りましたが、一部から『全会一致が原則』として協力が得られず最終結果を出すに至っていません。次期には必ず導入されることを期待しています。

## 議会 広報常任委員会

委員長	高橋源三郎
副委員長	山本 秀喜
委員	野矢 貴之
委員	加藤 和幸
委員	後藤 勇樹
委員	谷 成隆
委員	齋藤 光弘

## 編集後記

春の訪れとともに今年は統一地方選挙が行われます。私たち17期の議員も改選を迎えます。この4年間、『議会だより』をお読みいただき、ありがとうございます。

情報過多と言われる時代に『議会だより』の果たす役割は何なのでしょう。『広報ひの』があり、議会のリアルタイム中継があり、議事録をネットで見られることもできます。

そんな時代に、一人ひとりの議員の声の工ッセンスとそれに対する行政の受け止めを記し、住民のみなさんの願いに答えられているかどうかを、常に自己点検しながらお届けしたいと思います。  
(加藤和幸)

## 3月定例会(本会議)のお知らせ【予定】

3月1日(開会・提案説明)  
8日(質疑) ・ 9日(一般質問)  
10日(一般質問) ・ 22日(採決・閉会)



町長提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	*杉浦
補正予算（4議案）														
一般会計（第7号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
農業集落排水事業特別会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
介護保険特別会計（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
下水道事業会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
決算の認定（9議案）														
令和3年度日野町一般会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	/
令和3年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
令和3年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
令和3年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	/
令和3年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
令和3年度日野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
令和3年度日野町西山財産区会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
令和3年度日野町水道事業会計決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
令和3年度日野町下水道事業会計決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

議員提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	*杉浦
請願の審査（1件）														
国に対し「所得税法第56条廃止と、必要な箇所の改善を求める意見書」提出を求める請願書 ▽請願団体：滋賀県商工団体連合会婦人部協議会 会長 大西理恵氏、深井重代氏 ▽紹介議員：加藤和幸議員、齋藤光弘議員	継続審査	委員会の結果である「継続審査」とすることに対して												
		○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	×



# 提出された議案と結果

○賛成 ×反対

## 第7回臨時会（11月4日）

町長提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	*杉浦
補正予算（1議案）														
一般会計（第6号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

## 第8回定例会（12月1日～23日）

町長提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	*杉浦
人事（3議案）														
日野町固定資産評価審査委員会委員の選任	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町奥台財産区管理会財産区管理委員の選任	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町大池小池財産区管理会財産区管理委員の選任	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
条例制定・一部改正（12議案）														
日野町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町個人情報の保護に関する法律施行条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例（一部改正）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町の議会議員および長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例（一部改正）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例（一部改正）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町情報公開・個人情報保護審査会条例（一部改正）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町職員定数条例（一部改正）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
特別職の職員の給与等に関する条例（一部改正）	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	/
日野町職員の給与に関する条例および日野町会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例（一部改正）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町水道事業の設置等に関する条例（一部改正）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町下水道事業の設置等に関する条例（一部改正）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町公共下水道事業受益者負担に関する条例（一部改正）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

\*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数のみ「議長採決」として表明します。

# 議員公務の一部を 紹介するにゃん



蒲生氏郷公顕彰会公認キャラクター  
がもにゃん



tekitoの野村氏による就労支援についての講演

## 滋賀県町村議会議長会主催で 県内町議会が連携して 議員研修がおこなわれたにゃん

研修

目的：自己研鑽、調査研究、事例収集、交流

対象議員：県内町議会議員全員

研修内容

- ・ 10年後の彼と地域を見つめた就労支援  
～未来への下ごしらえ～
- ・ 地域公共交通の活性化に向けた取組について

要望

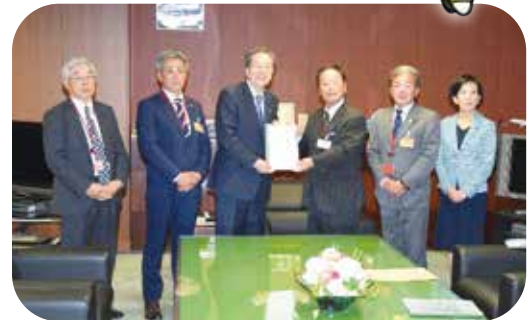
## 地域の課題解決のため、霞が関の担当省庁へ 直接要望活動へ出向くことも重要な役割にゃん。 今回は蒲生郡町村議会議長会としての活動にゃん。

目的：要望、調査研究、事例収集、交流

対象議員：議長、副議長（日野町、竜王町）

要望内容

- ・ 道路整備に係る交付金・補助金の大幅な配分について
- ・ 近江鉄道の活性化再生への取組支援について
- ・ 電力料金の高騰に伴う土地改良区等への支援について
- ・ 水道管路耐震化事業に係る交付金の交付率改定について
- ・ 子育て施設整備に対する補助金の創設について ほか



齊藤鉄男国土交通大臣に要望書を手渡す様子



滋賀県内町議会広報誌研修の様子

## よりよい広報誌を つくることも大切な 広報公聴活動だにゃん。 議会広報の研修会に 参加したにゃん。

広報

目的：自己研鑽、調査研究、事例収集、交流

対象議員：県内町議会の広報委員

研修内容：議会だよりのクリニック

日野町議会広報

日野町議会 議会だより

◆発行／日野町議会 ◆編集／議会広報常任委員会

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地

☎0748-52-6551 Fax0748-52-2044

ホームページ<https://www.town.shiga-hino.lg.jp> メール[gikai@town.shiga-hino.lg.jp](mailto:gikai@town.shiga-hino.lg.jp)

「議会だより」に関するご意見募集中！書式は問いません。郵送・e-mailまたは議会事務局までご持参願います。